

# アーチルニュース ちえなっぷ 第32号

## 《今号の内容》

(特集記事1)  
『ペアレント・プログラム』って何？

(特集記事2)  
『ペアレント・プログラム』講座はこんな感じ

※アーチルは「仙台市発達相談支援センター」の愛称です。子供から大人まで、発達障害のある方の支援を行っています。  
※ちえなっぷは「CHIN UP! (前を向いて)」の意味です。

## 特集記事1 『ペアレント・プログラム』って何？

ペアレント・プログラムは「子育ての応援プログラム」です。保護者が子どもの特性を知り、関わり方を工夫することで、子どもの発達にプラスの効果をもたらすことを目的としています。

保護者同士がペアを組んで話し合いながら進んでいきます。同じような悩みを持つ保護者が体験を共有することで、自分自身の理解も深まり子育てのパワーになっていきます。

### ○ペアレント・プログラムの目標

- ★ポイントは **行動** で考える！ 子どもに具体的にどのように行動したらよいかを導くコツを覚えます！
- ★キーワードは **ほめる** 対応！ がんばっているところ、努力しているところに注目し、ほめ上手になって子どもたちと接してみます！
- ★シェアしよう **仲間** づくり！ 同じ悩みを持つ保護者同士で子育てをともに考え、アイデアを出し合って毎日の生活に役立てます！

### ○楽しい子育てにつながるポイントを6回コースで学びます。

講座は6回コースで行われます。隣どうしてペアを組み、自分や子どものことについて現状把握表を書きながら進めていきます。現状把握表は、『いいところ・努力しているところ・困っているところ』に分かれて記入します。

ペアワークでは、お互いに書いたものを見せ合い、自分に合うものを取り入れたり、真似したりして見つけたことを共有していきます。



### ○アーチルでも開催しました！

平成31年度に北部・南部アーチルでは、保育所・園や幼稚園に在籍してからアーチルにつながった保護者の方を対象に、ペアレント・プログラム講座を開催しました。また、発達障害の有無に関わらず、子育て中の保護者にも効果的な講座とのことで、のびすくを会場に宮城野区と若林区でも、児童発達支援センター主催で開催しました。

## 特集記事2 『ペアレント・プログラム』 講座はこんな感じ・・・



😊 ペアワーク中です！ 😊

講座中に講師の先生に教えてもらった『ほめ言葉』の一部をご紹介します。



### ほめ言葉の一部

「エライね」 「なかなかやるね」  
「がんばっているね」 「いい感じ」  
「ステキ！」 「いいぞ、いいぞ」  
「いいよ～その調子その調子」  
「ここまでできれば十分！」

最初は、隣の方と話すことも緊張したけど、話をしているとそう思うこともあり、じっくり話しができてよかった。

### 保護者の感想から

怒ることはあるけれど、ほめることもできてきた。ほめることを意識していたら、家族が明るくなった。



スタッフも一緒に話し合います 😊

### 《編集後記》

実際に講座の中で、現状把握表を書きました。残念ながら、自分編も子ども編も「いいところ」を埋められずにペンが止まってしまいました。(困ったところはいっぱい書けました。) 日ごろから、自分も含めたみんなのいいところを見つけていきたいです。職場でも家庭でも「行動で!」「ほめる」「みんなに意見を求める」などを日々心掛け、実践したいと思いました。【M】

### 《連絡先》

仙台市北部発達相談支援センター（北部アーチル）電話：022-375-0110

仙台市南部発達相談支援センター（南部アーチル）電話：022-247-3801

《ホームページ》 <http://www.city.sendai.jp/kenkou/hattatsu/gaiyou/> もしくは「アーチル」で検索

※この広報紙についてのご意見・お問い合わせは上記の北部アーチルまでお願いします。